

各設問における「その他」の回答(主なもの)【小学6年生】

【質問1】

「こどもまんなか社会」という言葉から、どのような社会をイメージしますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

子ども中心に考えて守ってくれる社会
子どもが気軽に相談できる社会
子どもが生きやすい社会
普段の生活を過ごしやすいしてくれる社会
子どもにも不平等がない社会
子どもに優しい社会
子どもに希望を与える社会
一人残さず助けてくれる社会
子どもの考えを肯定的に受け止めてくれる社会
子どもといっしょに楽しんだり、悩んだりしてくれる社会

【質問2】

あなたが考える「こどもまんなか社会」をつくるためには何が必要だと思いますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

少子化対策
子どもの選挙権
差別がなくなること
子どもが不自由することのない社会
何も気にしないでいいところ、否定しないところ
子どもが安心して話ができる場所
いじめのことやいやがらせのことを相談できる人・場所
好きなことができる場所
家族だけでなく、あまり関わりがない人にも気軽に相談できる環境
子どもの気持ちを考えてくれる人
プレッシャーをかけないこと、子どもの味方になってくれること

【質問3】

ふだんの生活で、あなたが「幸せ」だと感じるのはどんなときですか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

生きてると自覚できるとき
目標を達成したとき
やりたいことにむかってやっているとき
のびのびと自由に暮らせるとき
自分が役に立ったとき
ほめられたとき
自分の個性を認めてもらえたとき
話を聞いてくれるとき
他の人に悪口などを言われないとき
友達が笑顔でいてくれるとき

各設問における「その他」の回答(主なもの)【中学2年生】

【質問1】

「こどもまんなか社会」という言葉から、どのような社会をイメージしますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

- 子どもも大人も年齢などで差別されない社会
- 子どもを支えてくれる社会
- 子どもの安全や健康をサポートする社会
- 子どもがやりたいことを選択肢を増やす社会
- 子どもがもっと気楽に意見が言えて、それを政治に反映してくれる社会
- 子どもの気持ちや考えが言いやすくなる社会
- 子どもの忙しさや自由を理解してもらえる社会
- 家族（親）がいて家族の温かいぬくもりを感じられる社会
- 子どもの自主性を尊重してくれる社会
- 子どもも社会の一員となる、大人に一步近づく

【質問2】

あなたが考える「こどもまんなか社会」をつくるためには何が必要だと思いますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

- ストレスのない社会づくり
- 子どもみんなが平等であること
- 子どもの意見もちゃんと理解してあげられる人
- 学校に行きたくない、家に帰りたくないという子どもを助けること
- いじめ・差別・虐待の撲滅
- 社会で役立つことを教える
- 子どもが自分らしくいられること
- 場所に限らず怖い思いをしないこと
- いろいろな地域の人達と遊んだり学んだりする
- 子どもが安心して生きていける場所

【質問3】

ふだんの生活で、あなたが「幸せ」だと感じるのはどんなときですか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

- いろんな人が応援してくれて一緒に喜んでくれること
- 家族みんなが健康に過ごせているとき
- 人を笑顔にできたとき
- 同じ目線に立って話してくれたり意見を聞いてくれたりする人がいるとき
- 生きていると実感したとき。また、地球がまるいと感じたとき
- 自分のしたことを誰かにほめられるとき
- 友達や先輩後輩と一緒にいるとき
- 努力が認められたとき
- 自分の目標が達成できたとき
- 一人のとき
- 全部幸せだと感じる